

宮崎護長

軍事極秘

呂集作命第八十五號

呂集團命令

十月一日一五〇江
於九

一、織田兵站司令官ハ野砲兵第百六聯

隊第三大隊ヲ瑞昌附近ニ於テ原所

屬ニ復歸セシムヘシ

二、第百六師團長ハ野砲兵集成一中隊

(三門編成)ヲ瑞昌ニ於テ織田兵站司

85

令官ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

又九江警備隊ニ配屬シアル野砲兵ニ

小隊(四門)ヲ第三中隊ト交代セシムヘシ

三、予ハ九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

口達又ハ電話後印刷交付

宮崎謙吉

軍事極秘

呂集作命第八十六號

呂集團命令

於十月二日ニロ三江

一左記諸隊ハ予ノ指揮下ニ入ラシメ

ラレ本二日ヨリ逐次九江ニ到着ス

左記

獨立氣球第三中隊

獨立野戰重砲兵第十五聯隊

86

86

獨立攻城重砲兵第二大隊

第三牽引自動車隊

二前項諸隊ハ碼頭鎮ニ上陸シ獨立

野戰重砲兵第十五聯隊長堀川砲

兵中佐ノ指揮ヲ以テ軍砲兵隊トナ

リ碼頭鎮—大楓林—木石港—陽新

道ヲ田畝(陽新南方八料)附近ニ前進

シ本街道ヲ避ケテ待機スヘシ
但シ一部ヲ以テ同地附近ニ於テ適
時左記目的ヲ達成セシムヘシ

左記

- (一) 波田支隊、陽新對岸陽動部隊
(長野戦重砲兵第十聯隊第一大隊
長)ニ協力

(二) 富水對岸地區ノ敵情地形ノ偵察
及特ニ有利ナル目標ノ制壓

(三) 波田支隊ノ排市附近渡河後陽新
附近ニ向フ攻撃ノ協力準備

細部ニ關シテハ主任參謀ヲシテ指
示セシム

三、湖江船舶隊ハ第一項部隊ノ碼頭

鎮ニ至ル輸送及揚陸ヲ擔任スヘシ
細部ニ關シテハ相互ニ連絡スヘシ
四予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

口達後印刷交付

1318

宮崎博長

軍事極秘

呂集作命第八十七號

呂集團命令 於十月三日一六
江

一左記部隊ハ自今予ノ道轄トス

左記

陽新高射砲兵隊

長 戸島砲兵大尉

近衛師團第十野戰高射砲隊(乙)

87

87

第十六師團第一野戰高射砲隊 (Z)

第三師團第三野戰照空隊

一陽新高射砲兵隊八九江一瑞昌一

大橋一木石港一陽新道ヲ黃灼頭

(陽新南方十料)附近ニ到リ同地附

近ノ防空ニ任スヘシ

細部ニ關シテハ主任參謀ヲシテ指

示セシム

1 三予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

電話後印刷交付

2

1321

軍事極秘

呂集作命第八十八號

呂集團命令

十月三日
九一九
江

一揚子江湖江作戰ノ爲新ニ第十

七碇泊場司令部及井上碇泊場

司令部ヲ予ノ指揮下ニ入ラシメラ

ル

二第十七碇泊場司令部及井上碇泊

場司令部ハ夫々現在地ニ於テ溯
江船舶隊長ノ指揮下ニ入ルヘシ

三予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

印刷交付

1323

宮崎 譯長

軍事極秘

呂集作命第八十九號

呂集團命令

十月五日一八三〇
於九江

軍八若溪附近ノ要衝ヲ攻略シ江

南地區ニ在ル敵ヲ分斷セリ

第百六師團周邊ノ敵ハ虬津市附

近ヲ經テ修永南岸ニ向ヒ退却中

ナリ

89

1324

龍港附近及其東方山地内ニハ依然若干ノ敵部隊アルモノヲ如ク龍港附近ニハ陣地ヲ認ム

第九師團及波田支隊ハ三溪口方面ニ進出スル爲排市附近ニ於テ富水ノ渡河攻撃ヲ準備中ナリ

一 第二十七師團ハ速ニ轉進ヲ開始ス所

● 1324-2

在ノ敵ヲ撃破シツツ辛潭鋪西方
地區ニ進出スヘシ

特ニ一部ヲ以テ天橋河及若溪附
近ノ要點ヲ確保シ武寧方面及修
水南岸ノ敵ニ對シ側背ヲ掩護セシ
ムヘシ

佐枝支隊ヲ配屬スルコト故ノ如シ

三、予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

要旨ヲ電報シ後印刷交付

1326

宮崎博長

軍事極秘

呂集作命第九十號

呂集團命令

於十月六日一六三
九江口

一、波田支隊ノ一部（秋富大隊ノ主力及

山砲一門）ハ海軍陸戰隊ト協力シ一昨

四日半壁山ヲ昨五口馬鞍山ヲ攻略

シ逐次地歩ヲ前方ニ進メツツアリ

志摩支隊（歩兵第百二十聯隊長志

90

1327

摩大佐ノ指揮スル歩兵ニ大隊野砲ニ
大隊基幹ハ田家鎮及其東北方地
區ニ在リテ蕪春ニ向フ前進ヲ準備
中ナリ
高品支隊(編成別紙)ハ予ノ指揮下
ニ入ラシメラレ本六日ヨリ逐次九江ニ
到着ス

二 高品支隊ハ到着ニ伴ヒ半壁山附近ニ上陸シ海軍ト協力シ先ツ黄穎口附近ニ至ル江岸附近ノ敵ヲ驅逐シ海軍ノ水路啓開ヲ容易ナラシムヘシ陸海軍協同作戰ニ關スル軍ト第三艦隊トノ協定ハ別ニ指示ス

三 波田支隊長ハ馬鞍山方面ニ在ル部

2

1329

隊ヲシテ高品支隊長ノ同地附近到
着ト共ニ同支隊長ノ指揮下ニ入ラシム
ヘシ

四 湖江船舶隊ハ高品支隊長ノ揚陸並
ニ補給輸送ニ任スルト共ニ所要ニ
應シ一部ヲ以テ同支隊長ノ作戰ニ協
力セシムヘシ

細部ニ關シテハ相互ニ連絡スヘシ
五予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

波田支隊ニハ電報、高品支隊ニハ
先遣參謀ニ口達シ後印刷交付

1331

宮崎謙長

軍事極秘

呂集作命第九十號別紙

高品支隊編組

長歩兵第六十聯隊長 高品大佐

支隊本部

歩兵第六十聯隊第一大隊

歩兵第六十七聯隊第三大隊

歩兵第五十一聯隊第三大隊(第五中隊欠)

歩兵第六十聯隊歩兵砲隊
(聯隊砲小队欠)
(速射砲小队欠)

歩兵第五十一聯隊聯隊砲一小隊

騎兵小队

野砲兵第二十一聯隊第一大隊(第三中队欠)

工兵第十五聯隊第二中队(一小隊欠)

支隊通信隊

支隊救護班

宮崎師長

軍事極秘

呂集作命第九十一號

呂集團命令

於十月七日一三
九江口

一 富水渡河ニ關スル呂集作命第八

十二號中左記ノ如ク改定ス

左記

(一) 波田支隊ハ第九師團長ノ區處

ヲ以テ同師團主力ニ引續キ富水ヲ

91

渡河スヘシ

渡河實施間其砲兵及渡河資材ヲ
以テ第九師團ニ協力セシメ且速ニ配
屬工兵一中隊ヲ現在地附近ニ於
テ第九師團ニ轉屬スヘシ

(二) 細部ニ關シテハ相互ニ連絡スヘシ
第九師團ハ排市方面ヨリ富水ヲ

渡河スヘシ

渡河後速ニ一部ヲ辛潭鋪附近ニ前
進セシメ敵ノ退路ヲ遮斷セシムヘシ

(三) 第九師團ハ渡河實施後速ニ獨立

工兵第二聯隊(一中隊欠)及第一師團

渡河材料中隊(一小隊欠)ヲ波田支隊

ニ轉屬スヘシ

(四) 第九師團ノ車輛部隊ハ富水左岸
進出後波田支隊長ノ區處ヲ以テ
同支隊作戰地域内ノ道路ヲ使用スル
コトヲ得

二、渡河開始ノ時機ハ十月十日頃ト定ム

三、細部ニ關シテハ沼田參謀副長ヲシテ

指示セシム

四予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

電報シ後印刷交付

1338

宮崎 隆長

軍事極秘

呂集旅命令第九十二號

呂集團命令

於十月八日一二三
九 江

一諸情報ヲ綜合スルニ
蕪春東方地

區ニハ大ナル敵部隊ナキモノ如シ

波田支隊ノ一部ハ海軍陸戰隊ト協

力シ宗家湖、黄金山ノ線ニ在リ

高品支隊ハ兵力ノ到着ニ伴ヒ地歩

92

ヲ進メ先ツ黄穎口附近ニ進出スル
筈

別ニ海軍陸戦隊ノ一部ハ江上ヨリ蘄
春ヲ攻略スル筈

ニ志摩支隊ハ速ニ前進ヲ開始シ蘄
春ヲ攻略スヘシ

特ニ一部ヲ以テ栗木橋方面ノ敵ニ

對シ右側ヲ警戒セシムヘシ

三、湖江船舶隊ハ一部ヲ以テ志摩支

隊ノ作戦ニ協力スヘシ

四、予ハ九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

要旨ヲ電報シ後印刷交付

宮崎海長

軍事機密

呂集作命第九十三號

呂集團命令

十月八日一四三
九江

一 志摩支隊ハ蘆春附近ニ於テ黃白
城(蘆春北々西十八軒)附近ニ向フ前
進ヲ準備スヘシ

二 湖江船舶隊ハ依然一部ヲ以テ志

93 摩支隊ニ協カスヘシ

三、予ハ九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

要旨ヲ電報シ後印刷交付

1343

軍事極秘

宮崎清長

呂集作命第九十四號

呂集團命令

於十月八日一五五江

一第百六師團前面ノ敵ハ連日執拗ナル抵抗ヲ持續シ揚家山(白水街東南約十三料)東西ノ線附近ニ於ケル同師團ノ戦況ハ相当田逼迫セラルモノト判断セラル

94

1344

二、第二十七師團ハ歩兵約三大隊ヲ基
幹トスル部隊ヲ直ニ反轉セシメ若
溪―虬律市道ヲ甘木關(柘林北
方約四料)附近ニ向ヒ急進シ第百
六師團當面ノ敵ヲ背後ヨリ攻撃
セシムヘシ

若溪附近ヲ經テ追及中ナル第百

六師團ノ砲兵隊及補充兵隊ヲ一時併セ指揮セシムヘシ

三野戰輸送隊ハ自動車輸送ヲ以テ第

二十七師團一部ノ兵力轉用ニ協力ス

ヘシ

四予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官岡村寧次

下
達
法
飛
行
機
投
下
及
電
報
久

1347

宮崎 課長

軍事極秘

呂集作命第九十五號

呂集團命令

十月九日一八〇
九日一八〇
江口

一、揚子江岸ノ戦況ハ有利ニ進展シツツ

アリ

兆花洞及其對岸地區附近ニハ敵砲
兵アルモノノ如ク海軍ノ水路啓開ハ
漳源口附近ニ達セリ

二、軍ハ海軍ト協力シ江岸附近ノ地
歩ヲ石灰窑及其對岸地區附近ニ
進メントス

三、志摩支隊ハ海軍ト協力シ機ヲ見
テ前方ニ地歩ヲ進メ江岸附近ノ敵
ヲ驅逐シ澤湖東岸地區ニ進出スヘシ
特ニ北方ニ對シ警戒スヘシ

四高品支隊ハ海軍ト協力シ江岸
附近ノ敵ヲ驅逐シテ石灰窑附近
ニ進出スヘシ

波田支隊ノ秋富大隊ハ逐次陽新
方面ニ前進シ原所屬ニ復歸セシ
ムヘシ

五溯江船舶隊ハ其一部ヲ以テ隨時志

1350

摩支隊及高品支隊ノ水上機動ニ
協力セシムヘシ

細部ニ關シテハ相互ニ協議スヘシ

六予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

要旨ヲ電報シ後印刷交付

1351

官務課長

軍事極秘

呂集作命第九十六號

呂集團命令

十月十日一五〇〇
於九江

一 狀況軍情報記錄ノ如シ

鈴木支隊(編組別紙)ハ新ニ予ノ指

揮下ニ入ラシメラレ本十日ヨリ逐次

九江ニ到着ス

二 鈴木支隊ハ九江ニ上陸シ瑞昌ヲ經

テ若溪附近ニ急進シ同地北方地
區ニ兵力ヲ集結スヘシ

若溪西方地區ニ於テ武寧方面ニ對
シ警戒戒中ナル佐枝支隊ノ一部ト密ニ
連絡シ要スレハ之ヲ支援スヘシ

又若溪―甘木關道ヲ東進中ナル佐
枝支隊主力トモ連絡スヘシ

三、野戰輸送隊ハ兵站自動車約ニ中隊
ヲ以テ鈴本支隊一部ノ九江―若溪
間ニ於ケル自動車輸送ニ任スヘシ
細部ハ相互ニ連絡スヘシ
四、細部ニ關シテハ主任參謀ヲシテ指
示セシム

五、予ハ九江集團司令部ニ在リ

1354

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

要旨ヲ口達シ後印刷交付

1355

呂集作命第九十六號別紙

鈴木支隊ノ編組

長 陸軍少將 鈴木春柏

支隊本部

歩兵第五十四聯隊(第二大隊欠)

歩兵第五十三聯隊第三大隊

騎兵小隊

後備騎兵中隊

野砲兵第二十三聯隊第三大隊(第七隊欠)

工兵第十七聯隊第二中隊

支隊通信班

支隊衛生班

輜重兵第十七聯隊第二中隊

支隊經理勤務班

宮崎調長

軍事極秘

呂集作命第九十七號

呂集團命令

十月十日ニロロ江
於九

一 狀況前田少佐ニ示シタル所ノ如シ

二 戰車第五大隊(二中隊欠)八成ルヘク

速ニ九江附近出發瑞昌―若溪―甘

木關(若溪東方約十八料)道ヲ急進

シ佐枝支隊ニ追及同支隊長ノ指揮下

ニ入ルヘシ

三、予ハ九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

口達シ後印刷交付

1359

宮崎海軍長

軍事極秘

呂集作命第九十八號

呂集團命令

於十月十日二三二江

一、第九師團及波田支隊ノ戦闘ハ有利ニ
進展シツツアリ

該方面ニハ新手ノ敵現出セシモノノ

如シ

二、軍砲兵隊ハ道路ノ關係之ヲ許セハ成

ルヘク多クノ兵力ヲ以テ速ニ排市方
面ニ陣地ヲ變換シ第九師團及波田
支隊ノ戰鬥ニ協カスヘシ

三予八九江集團司令部ニ在リ

呂集團司令官 岡村寧次

下達法

要旨ヲ電報シ後印刷交付